

市立伊勢総合病院

○ 業務の概要

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとする地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきた。

本年度は、新公立病院改革プランの策定、地域医療支援病院の承認、安全・安心で高度な医療を提供するため、超音波診断装置、全身麻酔装置などの整備、また、新病院建設事業については、平成25年3月に策定した「新市立伊勢総合病院建設基本計画」に基づき建設事業を進め、新病院建設工事実施設計及び新病院建設地造成工事が完成し、平成31年1月開院を目指して、10月より新病院建設工事に着工した。

利用状況については、入院延患者数 69,125人（1日平均 189人）、外来延患者数 127,202人（1日平均 524人）、健診者数 13,970人（1日平均 48人）となり、前年度と比較すると、入院患者数で 571人の増加、外来患者数で 366人の減少、健診者数で 116人増加した。

財政収支の状況は、収益的収支において、消費税を除き収入額 6,290,454,789円、支出額 6,240,937,511円の執行となり、49,517,278円の純利益を生じ、1,896,533,447円の繰越欠損金を差し引き、当年度未処理欠損金は 1,847,016,169円となった。

一方、資本的収支においては、収入額 1,434,400,000円、支出額 1,620,466,794円の執行となり、186,066,794円の収支不足となったが、損益勘定留保資金等で補填した。

また、資本的収入において 5,729,994,000円、資本的支出において 5,730,000,000円を翌年度に繰り越した。

今後、新病院建設に伴う企業債償還金、減価償却費の増加などにより、病院運営が厳しくなることが予測されるが、新病院開院を目指し、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、健全な病院経営に取り組んでいく。

1 職員に関する事項

（各年度3月31日現在）

区分	医師	看護職	医療技術職	事務・その他	再任用	計
平成28年度	46人	195人	73人	42人	3人	359人
平成27年度	46	194	73	43	1	357

2 経理の状況

（1）平成28年度伊勢市病院事業損益計算書

（単位 円）

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日まで			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額

病院事業費用	6,240,937,511	病院事業収益	6,290,454,789
医業費用	5,807,095,711	医業収益	4,855,759,026
給与費	3,664,490,211	入院収益	3,081,585,076
材料費	1,026,657,571	外来収益	1,629,627,135
経費	840,516,835	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	239,554,845	その他医業収益	94,676,815
資産減耗費	4,285,216	健診収益	290,297,702
研究研修費	31,591,033	健診収益	290,297,702
健診費用	151,536,855	医業外収益	1,144,398,061
給与費	106,228,987	他会計補助金	534,368,960
材料費	6,054,489	他会計負担金	460,923,000
経費	31,468,573	県補助金	3,531,000
減価償却費	7,784,806	国庫補助金	3,694,257
医業外費用	282,304,945	負担金交付金	2,000,000
支払利息及び 企業債取扱諸費	11,577,201	長期前受金戻入	96,848,792
雑損失	253,505,998	その他医業外収益	43,032,052
負担金	853,946		
医業外雑費	16,367,800		
当期純利益	49,517,278		
合 計	6,290,454,789	合 計	6,290,454,789

(2) 平成28年度伊勢市病院事業貸借対照表

(単位 円)

平成29年 3月31日			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	4,744,054,002	固定負債	3,144,477,024
有形固定資産	4,302,673,817	企業債	1,339,410,343
土地	1,669,274,868	建設改良等企業債	1,339,410,343
建物	5,383,027,338	引当金	1,805,066,681
構築物	322,622,541	退職給付引当金	1,805,066,681
器械備品	3,639,478,332	流動負債	1,523,521,167
車両	8,463,238	一時借入金	350,000,000
建設仮勘定	827,497,459	企業債	182,972,037
減価償却累計額	△7,547,689,959	建設改良等企業債	182,972,037
無形固定資産	3,562,685	未払金	776,440,648
電話加入権	3,562,685	医業未払金	379,137,979
投資その他の資産	226,870,000	未払消費税	3,413,000
長期貸付金	226,870,000	その他未払金	393,889,669
基金	210,947,500	引当金	212,956,000

基金	210,947,500	賞与引当金	180,179,000
流動資産	1,587,428,337	法定福利費引当金	32,777,000
現金預金	581,725,051	その他流動負債	1,152,482
現金	585,000	預り金	152,482
預金	581,140,051	預り保証金	1,000,000
未収金	984,585,132	繰延収益	999,630,560
医業未収金	969,329,359	長期前受金	4,558,566,274
医業外未収金	21,199,209	収益化累計額	△3,558,935,714
貸倒引当金	△5,943,436	資本金	821,818,431
貯蔵品	21,118,154	剰余金	△157,964,843
薬品	13,923,292	資本剰余金	1,689,051,326
診療材料	4,789,911	受贈財産評価額	145,324,995
その他貯蔵品	2,404,951	国庫補助金	46,876,000
		他会計補助金	571,419,568
		工事負担金	53,395,358
		寄附金	108,531,500
		補助金	2,008,000
		他会計負担金	761,495,905
		欠損金	1,847,016,169
		当年度未処理欠損金	1,847,016,169
合計	6,331,482,339	合計	6,331,482,339

3 病院利用状況

診療科目	入院	外来
内科	25,541人	32,889人
循環器内科	1,851	—
外科・消化器外科	8,203	12,067
整形外科	20,384	21,199
形成外科	—	345
皮膚科	2,373	11,357
泌尿器科	2,818	10,530
産婦人科	636	4,034
小児科	—	59
耳鼻いんこう科	—	682
眼科	1,044	7,242
精神科	—	1,374
脳神経外科	—	328
歯科口腔外科	915	11,754
放射線科	—	3,930

麻酔科	人	人
	-	1,001
神経内科	3,692	8,069
緩和ケア内科	57	2
リハビリテーション科	1,611	340
計	69,125	127,202

4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	器械備品名	規格	金額
28. 7. 29	血液ガス分析装置	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス ラピッドポイント500	円 2,430,000
28. 8. 30	多機能心電計	フクダ電子 多機能心電計 (FCP-7541)	1,188,000
28. 10. 24	除細動器	日本光電工業 ディフィブリレータ (TEC-5631)	2,052,000
28. 10. 31	全自動輸血検査システム	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス オーソ ビジョン	3,999,240
28. 11. 25	超音波診断装置	日立製作所 超音波診断装置 (ARIETTA S70)	18,900,000
28. 12. 21	多列半導体検出器型線量 検証システム	ユーロメディテック Delta ⁴ Phantom+	17,906,400
28. 12. 21	2次元イオンチェンバー アレイ	ユーロメディテック OCTAVIUS™ Detector	11,199,600
28. 12. 27	グリコヘモグロビン及び グルコース分析装置	アークイレイ ADAMS™ A1c (HA-8181) ADAMS Glucose (GA-1172)	2,000,000
29. 1. 20	人工呼吸器	東機貿 ニューポート ベンチレータ (e360)	5,940,000
29. 3. 14	セントラルモニタ	日本光電工業 セントラルモニタ (WEP-5218)	2,570,400
29. 3. 14	光学式眼軸長測定装置	トーマコーポレーション 光学式眼軸長測定装置 (OA-2000)	4,698,000
29. 3. 22	全身麻酔装置	ドレーグル・メディカルジャパン 全身麻酔装置 (Fabius Plus)	3,167,640
29. 3. 24	ベッドサイドモニタ (そ の1)	日本光電工業 ベッドサイドモニタ (MU-631R) ベッドサイドモニタ (BSM-1763)	9,072,000
29. 3. 24	ベッドサイドモニタ (そ の2)	日本光電工業 ベッドサイドモニタ (BSM-3552)	8,337,600
29. 3. 24	脳波計	日本光電工業 EEG-1250 (ニューロファックス)	4,968,000
29. 3. 24	オフィスライセンス	Microsoft Office 2016 Standard Japanese MVL (型番:021-10561)	2,086,138

29. 3. 27	薬用冷蔵ショーケース及び冷凍庫	パナソニックヘルスケア MPR-514-PJ、MPR-312DCN-PJ、MDF-MU300H-PJ	円 1,836,000
29. 3. 30	多用途透析用監視装置	日機装 多用途透析用監視装置 (DCS-100NX)	3,542,400
29. 3. 31	救急車両	トヨタ自動車 ノア (ウエルキャブ)	3,245,850

○ 医師・看護師確保対策事業

病院事業の安定ひいては地域医療の存続のために、医師・看護師不足を解消すべく、確保対策の1つとして医師・看護師奨学金制度を運用している。平成28年度は医師奨学生を5名、看護師奨学生を14名新たに選考し、貸与終了後の医師及び看護師の安定的な確保に努めた。

なお、初期臨床研修を修了した医師奨学生1名、平成28年度卒業の医師奨学生1名、看護師奨学生8名は当院に就職した。

平成28年度 医師・看護師奨学生貸与状況

1 医師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
奨学生人数	3名	3名	2名	3名	1名	3名	15名

2 看護師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	計
奨学生人数	10名	13名	10名	0名	33名

奨学金制度のみならず、医師を派遣していただいている三重大学をはじめとした大学や医療機関へ積極的に働きかけを行った。また、市健康課と連携し、藤田保健衛生大学に寄附講座を設置することで確保できた常勤のリハビリテーション医により、平成28年8月から外来診療を開始し、また、入院についても回復期リハビリテーション病棟への患者の積極的な受け入れに努めた。初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、2名（医師奨学生1名を含む）が当院に就職した。

また、三重県立看護大学特別選抜試験地域推薦入学制度の利用や潜在看護師（看護師・准看護師免許を持っているが、家事・育児等により医療現場から離れている方）の職場復帰につながるよう、実習を伴った研修会の開催により看護師確保にも努めた。

併せて、ホームページやフェイスブック等を活用した情報発信、病院紹介イベント等への参加等、医療スタッフの確保につながる広報活動を行った。

○ 新病院建設関係

新病院建設工事に係る実施設計が完成し、新病院の建設工事に着手した。工事に係る総合図の確認作業を進めるとともに、工事の進捗に合わせて必要となる運用フロー及び医療機器設備レイアウトの再確認等を実施した。

1 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
楠部町内 地内	(注1) 新市立伊勢総合病院 建設工事設計業務委託	設計業務 一式	円 40,820,000 【契約額】 204,120,000 [平成26年度] 20,410,000 [平成27年度] 142,890,000 [平成28年度] 40,820,000	26.11.28	28.8.31
〃	平成28年度新市立 伊勢総合病院開院 支援業務委託	1 運用フローの検討等 運営システムに関する 支援 2 業務委託に関する計 画策定支援 3 物流管理システム業 務内容及び調達仕様 書作成支援 4 医療機器の予算調整 検討に関する支援及 び設備レイアウト検 討に関する支援等 5 医療情報システムの 仕様書及びITベンダ 選定等の検討に関する 支援	19,440,000	28.4.1	29.3.31
〃	(注2) 新市立伊勢総合病院 建設工事監理業務委託	監理業務 一式	16,200,000 【契約額】 64,260,000 [平成28年度] 16,200,000 [平成29年度] 32,500,000 [平成30年度] 15,560,000	28.10.24	30.10.12
計	3件	—	76,460,000	—	—

(注1) 建築住宅課施行、平成27年度～平成28年度債務負担行為

(注2) 建築住宅課施行、平成29年度～平成30年度債務負担行為

※合計は、各行の最上段を合算。

2 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	(注1) 新市立伊勢総合 病院建設地造成 工事	路床安定処理工 4,146㎡ 固結工 830本 土木シート工 3,240㎡ 側溝工 180m 集水樹工 4か所	円 342,646,520 【契約額】 360,011,520 [平成27年度] 17,365,000 [平成28年度] 342,646,520	27.12.11	28.9.15
〃	(注2) 新市立伊勢総合 病院建設工事	病院 鉄筋コンクリート 造(免震構造) 5階建 1棟 延べ面積 25,304.29㎡ 保育所 木造平屋建 1棟 延べ面積 224.73㎡	570,000,000 【契約額】 12,199,680,000 [平成28年度] 570,000,000 [平成29年度] 9,520,000,000 [平成30年度] 2,109,680,000	28.10.24	30.9.28
〃	(注3) 外来駐車場整備 工事	発券機保護屋根移設工 一式 アスファルト舗装工 52㎡ 区画線工 70m	1,234,440	28.10.26	28.11.30
計	3件	—	913,880,960	—	—

(注1) 基盤整備課施行、平成28年度債務負担行為

(注2) 建築住宅課施行、平成29年度～平成30年度債務負担行為
平成29年度へ一部繰越

(注3) 基盤整備課施行

※合計は、各行の最上段を合算。

○ 地域医療連携関係

地域とのさらなる医療連携の強化を目指し、8月より回復期リハビリテーション病棟への外部病院からの受け入れを開始し、紹介入院患者の獲得に努めた。

2月には、地域における第一線の医療機関である「かかりつけ医」を支援し、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として承認される『地域医療支援病院』の名称承認にむけての申請を行い、3月17日に三重県より承認を受けた。

患者相談については、患者等からの疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の様々な相談に対応し、退院時には、カンファレンスの開催や情報提供等シームレスな医療の提供に取り組んだ。

地域包括ケアシステムの構築に向けては、地域の医療機関とお互いに協力しやすい体制を作り、急性期から回復期、療養、在宅復帰にいたる切れ目ない医療の提供に貢献するために、伊勢市在宅支援ネットワーク協議会、地域包括ケア会議いせ、地域包括ケア検討会に参加した。

また、定期的に地域の多職種との「地域福祉交流会」を開催し、保健所との連携も深めて医療機関のみならず、行政や保健・福祉・介護に関する機関との連携強化に取り組んだ。

紹介患者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	人 698	人 711	人 738	人 747	人 787	人 720	人 814	人 744	人 746	人 722	人 733	人 857	人 9,017
平成27年度	675	641	722	688	746	635	727	659	756	608	745	757	8,359

患者相談窓口対応件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	件 39	件 38	件 51	件 43	件 50	件 48	件 29	件 22	件 18	件 36	件 35	件 39	件 448
平成27年度	—	—	—	48	37	50	37	34	31	29	37	38	341

平成28年度地域福祉交流会開催状況

第1回 6月18日 訪問看護師対象 参加人数14人（13事業所）

第2回 11月29日 訪問介護職員対象 参加人数22人（19事業所）

○ 健診・人間ドック関係

各種疾患や生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の健康増進の一助となるべく、各健保組合等から受託する人間ドックをはじめ、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診や法定健診等を実施した。

また、健診結果を今後の健康管理に活用していただけるよう「医師による当日結果説明」の実施を開始し、健診事業の充実に努めた。

（平成28年7月～平成29年3月 結果説明実施者数 930人）

受診者状況

区分	開設日数	受診者数			
		人間ドック	健診等	その他	計
平成28年度	日 289	人 6,814	人 6,784	人 372	人 13,970
平成27年度	289	6,777	6,636	441	13,854
平成26年度	289	6,676	6,330	502	13,508

※人間ドック…胃検査を実施したコース、脳ドック

※健診等…胃検査を実施しないコース

※その他…インフルエンザ、破傷風、B型肝炎等ワクチン接種、B型肝炎検査他

女性の方から好評を頂いていた、受診者やスタッフを女性に限定したレディースデーの実施回数を年1回から年2回に増やし実施した。

レディースデー実施状況

区 分	回 数	受診者数
平成28年度	2回	85人
平成27年度	1	32
平成26年度	1	27

健診等で要精密検査や要経過観察の判定となった方には、当院二次検査（外来診療）の受診案内を行い、疾病の早期治療につながるよう努めた。

区 分	受診者数 (延べ)
平成28年度	1,646人
平成27年度	1,649
平成26年度	1,513